（様式１）

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号※記載不要 |  |

令和５年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業委託費〔太平洋島嶼国〕

マスタープラン策定等調査事業提案書　基礎情報

連絡担当窓口は、必ず連絡がつながる者及び連絡先を登録すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査テーマ | 事業名称（和文） |  |
| 事業名称（英文） |  |
| 対象国・地域 |  |
| 対象分野※１ |  |
| 提案方式 | 単独／共同※２ |  |
| 提案者 | 企業・団体名（和文） |  |
| 企業・団体名（英文） |  |
| 代表者役職・氏名 |  |
| 所在地 |  |
| 連絡担当窓口 | 氏名（ふりがな） |  |
| 所属（部署名） |  |
| 役職 |  |
| 電話番号（代表・直通） |  |
| Ｅ－ｍａｉｌ |  |
| 重複提案 | 重複提案有無　※３ | 有・無 |

※１：募集要領「２．事業内容（３）重点（地域および）分野」に分野の記載がある場合は、該当する分野を記載すること。記載がない場合は、提案する任意の分野を記載すること。

※２：共同提案の場合は他の構成員となる企業・団体名等を以下に記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 企業・団体名（和文） |  |
| 企業・団体名（英文） |  |
| 代表者役職・氏名 |  |
| 所在地 |  |

［注意事項］

本事業ではマスタープラン（以下、MP）策定後、プロジェクト等の事業化を担う予定の企業等が参画する体制を構築して提案することを前提としており、原則としてコンサルティング会社、調査会社等（「事業化の支援を行う者」）の単独提案は想定していない。「事業化の支援を行う者」が単独で提案者となる場合は、本事業で策定されるMPに基づき組成されるプロジェクト等の事業化の際に､機器等の製造・輸出・販売､ＥＰＣやＯ＆Ｍの実施､投資等を行うことが想定される企業等（「受注や事業化を担う企業等」）から、本事業の実施にあたって協力が得られる旨を確認する書類（様式２）を事務局に提出すること。

※３：同じ国・地域を対象に、同一あるいは類似の提案内容にて、「令和５年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業委託費」のうち他事業者から募集される事業（他地域の事業）への重複提案を希望する場合は、以下に重複提案の提案先（地域）と他地域に応募する事業名称を記載のこと。なお、受託者は、受託内容が国等の他の補助金・委託費と重複しないこと、採択に当たっては外部審査委員の審査を考慮しつつ、分野に重複がある場合は分野のバランスを考慮して採択者が決定される可能性があること、重複提案については経済産業省に情報が提供されること、不実記載が判明した場合は審査の対象からの除外、採択決定の取り消し、契約の解除となる場合があることを了承の上で重複提案するものとし、重複提案の理由と本提案書による提案の採択希望順位（第一希望か第二希望か）を明記の上、応募すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 本提案書と重複提案している場合の提出先（地域）について、該当するものを記載 | ・ボストン・コンサルティング・グループ合同会社（グローバルサウス諸国横断）・PwCコンサルティング合同会社（ASEAN）・株式会社野村総合研究所（南西アジア）・アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社（中央アジア・コーカサス）・マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン（中近東）・有限責任監査法人トーマツ（アフリカ）・ボストン・コンサルティング・グループ合同会社（中南米） |
| 他地域に重複提案している事業名称（和文） |  |
| 重複提案の理由 |  |
| 本提案書の採択希望順位 | 第１希望・第２希望 |